8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」

世代を超えて 引き継ごう 平和への願い

市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い、2つの平和都市宣言を行っています。また、戦争の恐ろしさと平和の大切さを伝える平和啓発活動に取り組んでいます。

平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾（原爆）は、一瞬にして多くの人命を奪い去りました。

世界各地では、現在も紛争や国際テロが発生しており、核兵器の大きな脅威が存在します。

このことから、市は、自ら永遠の平和都市となることを決意し「世界連邦平和都市宣言」を、また、世界の恒久平和の確立や核兵器の廃絶を願い「非核平和都市宣言」を行っています。

戦争体験を伝える活動

戦争体験集の発刊

市では、二度と繰り返してはならない戦争のことを正しく知ってもらうため、昭和63年8月に、戦争体験集「今だからこそ 私たちの戦争体験記」を発刊しました。

それぞれ異なる場所や立場で戦争を経験された市民の皆さんから寄せられた体験がつづられた貴重な資料です。市ホームページ（https://www.city.narita.chiba.jp/shisei/index0709.html）で公開しているほか、市立図書館でも貸し出しています。

紙芝居「ねむの花に祈る」DVDの貸し出し

「ねむの花に祈る」は、学生の時に千葉市で空襲を受けた市内在住の日暮淑（ひぐらしよし）さんの体験を紙芝居にしたものです。この紙芝居のDVDを文化国際課（市役所4階）で貸し出しています。また、動画配信サイト「YouTube」（https://youtu.be/WKRKsfXZKBA）でも視聴できます。

折り鶴平和プロジェクト

市では、市民が手作りした折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を平成21年から実施しています。

これまでに市に寄せられた折り鶴は約145万4、500羽に達しました。

今年は市内の中学生が作成した折り鶴を千羽鶴にして届けます。

中学生折り鶴平和使節団

市では、折り鶴平和プロジェクトの一環として、市内中学校の代表生徒で結成される「成田市中学生折り鶴平和使節団」を被爆地へ派遣しています。

今年度は長崎を訪問します。団員たちは実際に被爆地を訪れ、被爆体験者の生の声を聴き、数々の被爆関係資料を視察するなどの体験を通して、平和の尊さや戦争の悲惨さ、核廃絶の必要性を学びます。

派遣後は、その貴重な体験を、同じ学校の生徒をはじめ多くの市民の皆さんに広め、平和に対する意識を育み、後世に伝えていくことが期待されます。

※くわしくは文化国際課（☎20-1534）へ。

成田市中学生折り鶴平和使節団団員紹介

今年度の団員の皆さん

立石（いしだて）結衣（ゆい）さん（成田中学校）
小堀（こぼり）朋華（ほのか）さん（遠山中学校）
石井（いしい）菜菜（かんな）さん（久住中学校）
草野（くさの）ひなたさん（西中学校）
渡邉（わたなべ）あすかさん（中台中学校）
髙橋（たかはし）星七（せな）さん（吾妻中学校）
粟野（あわの）真璃（まり）さん（玉造中学校）
島田（しまだ）真帆（まほ）さん（公津の杜中学校）
櫻井（さくらい）希羽（ののは）さん（下総みどり学園）
向後（こうご）怜（れい）さん（大栄みらい学園）
遠山（とおやま）結菜（ゆな）さん（成田高等学校付属中学校）

（学校順）

今後の平和事業イベント

戦争の悲惨さを伝える「原爆の図」展

画家の丸木位里（まるきいり）・俊（とし）夫妻の作品を展示し、原爆の被害の実態や平和の尊さ、核の廃絶を訴えます。また、原爆の図丸木美術館学芸員の岡村幸宣（おかむらゆきのぶ）さんを講師にトークショーを開催します。

展覧会

日時＝8月13日㈯まで（月曜日を除く）午前10時～午後5時
会場＝スカイタウンギャラリー

トークショー

日時＝8月12日㈮ 午後2時～3時30分
会場＝スカイタウンホール
定員＝120人（先着順）

※入場は無料です。展覧会の鑑賞を希望する人は当日直接会場へ。トークショーの申し込みは文化芸術センター（☎20-1133、月曜日は休館）へ。

原爆写真ポスター展

平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原爆投下直後の惨状を記録した写真ポスターを展示します。

日時＝8月24日㈬～9月1日㈭ 午前9時～午後9時
会場＝もりんぴあこうづ